

## (8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間との関わりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

### 実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

#### 1 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫

・環境教育を担当する分掌を位置付けるとともに、全教職員が環境教育の必要性を認識し、取組について共通理解を図る。

★環境教育の目標と学校教育目標とを関連付けて全体計画等を作成し、各教科等間の関連を図りながら、効果的で継続的な指導を行う。

#### 2 地域の環境の実態に即した指導の工夫

・児童生徒の実態を多面的に把握し、環境に対する興味・関心や問題意識を生かした指導を工夫するとともに、探究的な学習を積極的に行う。

・身近にある環境を様々な視点で把握し、身近な環境問題と地球規模の問題を関連付けて考えさせることにより、グローバルな視点に立って環境問題を解決するための能力や態度を育成する。

・地域環境を共有する近隣の学校等と連携し、合同で調査活動を行ったり、学習成果を発表し合ったりするなど、より効果的な指導を工夫する。

#### 3 環境に関わる体験活動の充実

・身近な自然や社会環境に触れることができるよう、直接的、具体的な体験活動を実施するとともに、実践による効果を高めるために事前・事後指導を充実させる。

・学校で学んだことを家庭や地域社会の中で生かすことを通して、環境問題の解決に向けた行動力を身に付けさせる指導を工夫する。